

かさねの色目の花あそび No.7

【色目】紅菊 <表：紅 裏：青>

平安時代は、菊は白と黄色しかなかったの
で、「紅菊（くれないぎく）」という色目は、
園芸が行われ赤い菊もできるようになった後
世に登場した色目だそうだ。

花あそびでは、赤いカーネーションと南天
の葉っぱを使用。補色関係のほんとありふれ
た色の組み合わせをありふれた2種生けで。



かさねの色目の花あそび No.8

【色目】蘇芳菊 <表：白 裏：濃蘇芳>

「蘇芳菊（すおうおぎく）」は、白菊が
霜によって蘇芳色に変色した様を表すそ
うだ。なんと繊細な観察眼&審美眼。

花あそびは、蘇芳色のカーネーションと、
淡い蘇芳色の縁取りのあるカーネーシ
ョン、そして白アジサイ。写真ではカーネ
ーションが蘇芳色には見えないのが残念。



かさねの色目の花あそび No.9

【色目】花菊 <表：淡蘇芳 裏：濃蘇芳>

「花菊（はなぎく）」も、変色
が進んでいく白菊の組み合わせ。
あるいは、栽培された園芸種の赤
系の菊を指す後世の色目。

上の「蘇芳菊」のカーネーシ
ョンにもう1本蘇芳系を加え、緑
のモンステラの葉もプラスした。

